

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

19 日本国特許庁 (JP)

11実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭58—78697

51 Int. CL³
H 05 K 9 00
H 05 K 5 00

識別記号
1105- 5F
6332- 5F

13 公開 昭和58年(1983)5月27日

審査請求 未請求

(全 1 頁)

54シールドケース

ソニー株式会社芝浦工場内

55出願人 ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番
35号

21実 願 昭56-173195
22出 願 昭56(1981)11月24日

56代理人 弁理士 小林将高 外1名

23考案者 大島賢一
東京都港区港南1丁目7番4号

明細書

1. 考案の名称

シールドケース

2. 實用新案登録請求の範囲

プリント基板に半田付けするため数個の脚を設けたシールドケースにおいて、プリント基板に半田付けされた脚部と、前記シールドケースの本体部を切り離すための切り込み部を、前記脚の一部に形成したことを特徴とするシールドケース。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、プリント配線基板に組み込まれている電子部品又は電子回路をシールドするためのシールドケースに関するものである。

現在、TV、ラジオなど電子機器に内蔵されている電子回路は殆んどプリント配線で形成され、小形化されている。しかし一枚のプリント基板に各種の回路を形成すると、回路間の相互干渉を防止するため、必要に応じて特定の回路部分又は電子部品をシールドする必要がある。

第1図はかかる目的のためプリント基板の一部

(1)

800

実開58-78697

回路をシールドする構成を示したもので、1はプリント基板、2はシールドケース、3，3はシールドすべき電子部品を示す。シールドケース2は本体部分2aとプリント基板1に半田付けする数個の脚2bよりなり、これらの脚2bは断面で示すようにプリント基板1のパターン面でアース回路に半田付けされている。

ところで、このように構成されているシールドケース2は、例えばシールドされている電子部品3，3を取り替えるとき、又はチェックするときに、プリント回路を機器から取り外し、プリント基板1の裏側からシールドケース2の脚2b，2b……の半田を同時に溶融しなければ、シールドケース2を除去することができず、電子機器の修理、チェックなどが非常に困難であつた。

この考案は、かかる欠点を解消するためになされたもので、シールドケースの除去が簡単に行えるようにしたものである。

以下、この考案のシールドケースの構成について説明する。

第2図はこの考案の一実施例を示すシールドケースSを示したもので、シールドケース本体S_aとその底面より突出して設けられる脚S_b、……より形成され、脚S_bにはシールドケースSをプリント配線板に半田付け固定したあとも、ニッパーなどで切断できるように切り込み部Cが形成されている。すなわち、第2図(a)の場合は、脚S_bを直角に折り曲げてクロスハッチで示した部分を切り込み部Cとしたものであり、第2図(b)は脚S_bに膨出部を形成して切り込み部Cを形成したものである。又第2図(c)ではシールドケース本体S_aにニッパーの刃先が入るような窓部Wを設けて脚S_bを形成し、クロスハッチで示した切り込み部Cを切断できるようにしたものである。さらに第2図(d)では脚S_bをコ字状に折り曲げ切り込み部Cを形成したものである。

以上説明したように、この考案のシールドケースは、プリント基板に半田付け固定したあとも、前記脚_bに形成してある切り込み部にニッパー又は他の切断器具をあてがつて、切断することができる。



るので、プリント基板を電子機器から取り外すことなく、必要に応じてシールドケースを除去することができ、修理、チェックなどの作業性を一段と向上させることができる。又、切断除去したシールドケースは、プリント基板に残つている脚に再び半田付けして取り付けることができるので、修復の際に新品のシールドケースを取り寄せる必要がないなどの利点を有する。

4. 図面の簡単な説明

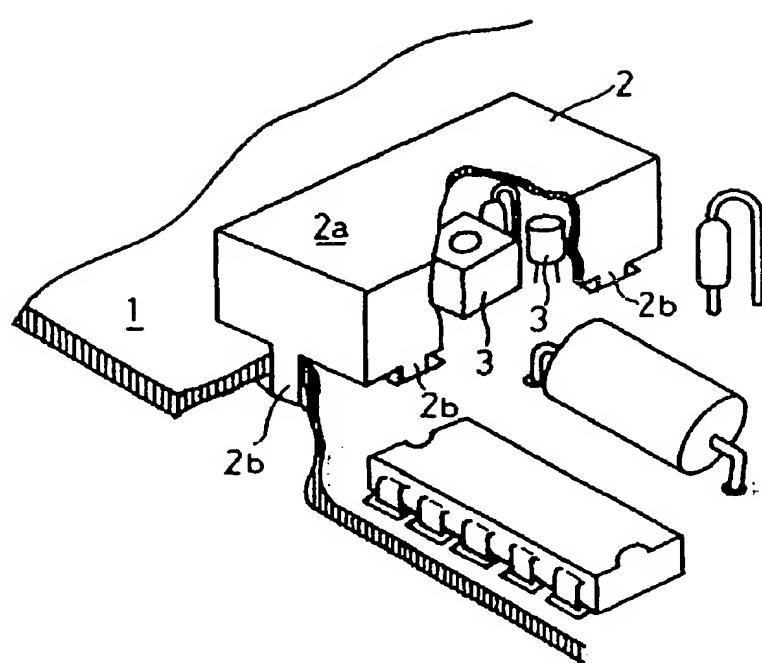
第1図はプリント基板に取り付けたシールドケースの斜視図、第2図(a), (b), (c), (d)はこの考案のシールドケースの斜視図を示す。

図中、Sはシールドケース、S_aはシールドケース本体、S_bはシールドケースの脚、Cは切り込み部を示す。

代理人 小林将高 (はか1名)



第 1 図



代理人 小林将高

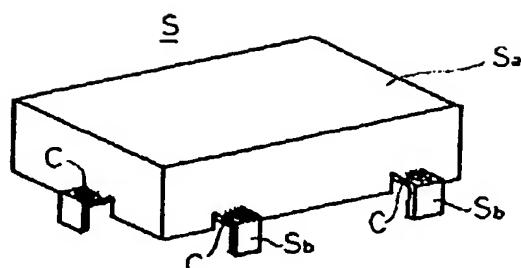
803

1983-78697

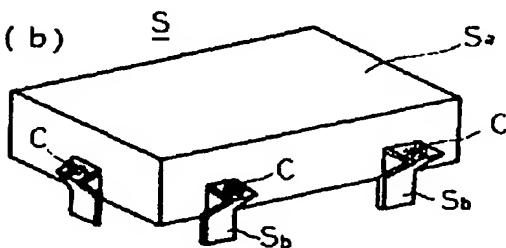
1/2

第 2 図

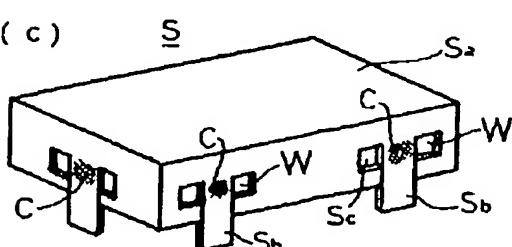
(a)



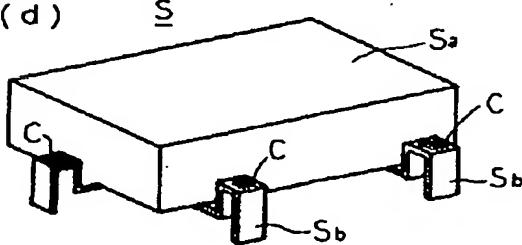
(b)



(c)



(d)



500

代理人 小林将高

寒闌58.7.8.6.9.7

2/2